(Ⅲ)		<del>+</del>	吹24牛皮争/	労争未計価ン	<u> </u>		半风	24 年	6月	22 日	<u>作风</u>			
事務事業 No./名 称	■サービス部 □支 援 部		-09 広聴事業											
主管課	秘書広報課		水  里	関連課										
<u>工目标</u> 分野名				因迷珠										
	市民の参画、協働の推進													
目標 (目標値)	市政に対する意見・要望などを聴き、市政に反映させるため、広聴活動の充実を図る。													
人口等の	データ区分		23年度	1 2	22年度		21年度			備る	_			
データ	人口		77,204人	_	7,161人		176.669人		•各年4月		J			
	世帯数		),217世帯		812世帯		78,131世春		_ ・台平4月1日  (住民基本台帳)					
	事業の対象者数		,,=17 == 1 3	70,	<u> оте је пр</u>	1	70,101 [2]	,						
運営資源	決算値(千円)		146		188		653							
状 況	(国・県)													
	(負担金等)													
	(一般財源)		146		188		653							
	人員配置数 1.5			1.5			1.5							
	人 件 費(千円)		12,799		2,916		13,310							
	協働の		モニター等市		ニター等市		市政モニター等							
	パートナー		丁内会連合会		内会連合会	숲	自治町内会連	合会						
事務事業	総事業費(千円)		12,945	1	3,104		13,963							
運営経費	市民1人当		73		73		79							
	りの経費(円)													
	対象者1人													
	当りの経費(円)		1		ı	<u> </u>	1	Ī						
ベンチマーク	団体名⇒													
(県内外自治体														
や民間団体と の比較値)														
						<u> </u>								
指	標	評価	年度	21年度	度 22年度		23年度	24年度		最終年	度(年度)			
市政e-モニターの登録人数		0	目標値	_	500		500	500 5						
◎目標を達成 ○目標に向かって前 進			実績値	_	186		202							
評価のポイント														
	・													

	評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。		事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
			事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した 場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

## 中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

中争未に含まれる小争未の計画(	一個別事業の	%女16衣曲/	1										
小事業名	H23決算値	評価		、要改善=△				⇒	方向性				:改善・見直し
	146千円	①効率性	〇 ②妥当性	〇 ③有效	性 〇	④公平性	Δ	⇒	□A	□В	■C	□D	□E
広聴事業	事業の概要		ットを活用した 長カフェ(市民)								学。ふれあい地域: :。 □C [ □C [	地域懇談会	:(自治町内会
		①効率性	②妥当性	③有效	性	④公平性		⇒	□A	□В	□C	□D	□E
	事業の概要												
		①効率性	②妥当性	③有效	性	④公平性		⇒	□A	□В	□C	□D	□E
	事業の概要												
		①効率性	②妥当性	③有效	性	④公平性		⇒	□A	□В	□C	□D	□E
	事業の概要												
		①効率性	②妥当性	③有效	性	④公平性		⇒	□A	□В	□С	□D	□E
	事業の概要												

## 事務事業の課題及び取組状況

-	于初于木砂斯起源	
		・各課に対して、市政e-モニターの認知を高め、アンケートの活用を進めていく。 ・若年層を対象とした広聴活動を行う。
	課題解決のための取組	・StarOffice掲示板によって全庁に周知するとともに、市長やモニターの関心の高いテーマを積極的にアンケート化し、5回のアンケートを実施した。 ・自治町内会を対象とした新たな広聴活動を検討したが、調整が間に合わず実施には至らなかった。
	未解決の課題	・より幅広い年齢層を対象とし、市長と市民が共に意見を交換し合える新たな広聴活動を検討し、実現に向けて取り組む。

## 中事業の評価と今後の方向性

	適切=○ 要改善=△ (評価の視点 を参照)	①効率性	0		A:充実·拡大 B:現状継続C:改善·見直UD:統合縮小 E:	※口事業完了	
		②妥当性	0	今後の	・市政e-モニターについては、広報紙・市HP・モニター 広告等により、定期的に募集記事を掲載していく。 ・青少年トークについては、高校や大学のイベント等に 参加する形で機会を設ける。	1	課長等名
中事業の評価		③有効性	0	方向性			秘書広報課長
	7	④公平性	Δ		・休日に複数回、一般市民を対象とした広聴事業を全市 的に実施する。	А	奈須 菊夫

(2面) 個別事業の概要 (単位:千円)

小事業名		ザイムスコード	個別事業名	23年度予管	23年度決算値	個別事業の到	[価結里
7 7 7 1							
			臨時的任用職員賃金(テープ反訳事務)	60		■適切	□見直し余地あり
			市政e-モニター謝礼	120		■適切	□見直し余地あり
			保育ボランティア謝礼	70		■適切	□見直し余地あり
	主な		広聴事業用事務用品費	43		■適切	□見直し余地あり
	個		ふれあい地域懇談会賄い	39		■適切	□見直し余地あり
広聴事業	別事		マイクロホン修繕料	10		■適切	□見直し余地あり
	争業	455	ふれあい地域懇談会会場使用料	30	15	■適切	□見直し余地あり
	×11.						
						□適切	□見直し余地あり
	主な						
	個						
	別事						
	業						
						口適切	□見直し余地あり
	主						
	主な個						
	別事						
	業						
						口適切	□見直し余地あり
						그應奶	山元旦(ホ地の)り
	<b>‡</b>						
	主な個別事業						
	別						
	事業						
						口適切	□見直し余地あり
	主か						
	個						
	主な個別事業						
	業						